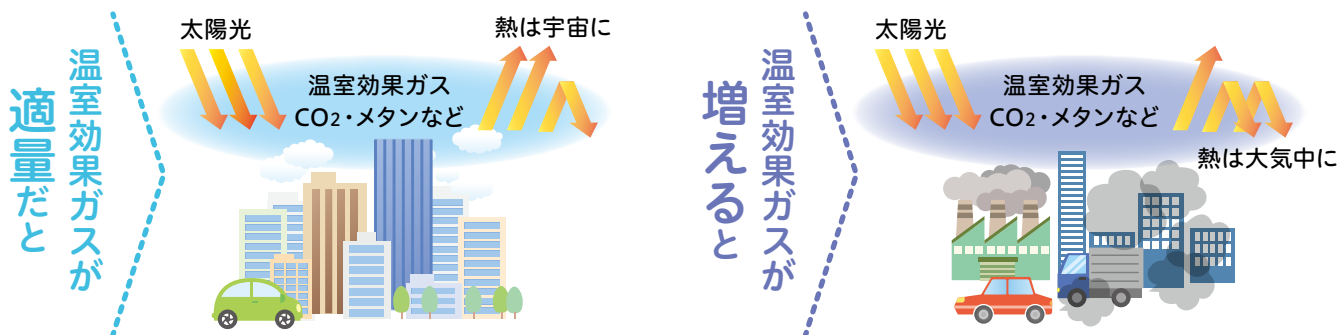


地球温暖化について考えよう

私たちが暮らす社会は、エネルギーの消費によって成り立っています。日常生活に欠かすことのできない電気、ガス、水道はもちろん、現代社会の基礎となっている運輸、通信などもすべてエネルギーを使用しています。

私たちが使用するエネルギーの大半は、石油や石炭などの化石燃料を燃焼させることによって得られていますが、これに伴って、大気中に二酸化炭素などの温室効果ガスが排出されます。エネルギーの大量消費で温室効果ガスの濃度が上昇し、地球が宇宙に放出するはずの熱が大気中に封じ込められる温室効果が進み、地球が温暖化しています。



地球温暖化の原因と予測

温室効果ガスの代表がCO₂(二酸化炭素)です

二酸化炭素は、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やすと発生します。私たちが電気やガス、水道、ガソリンなどを使うことで二酸化炭素が増加し、それによって気温が上昇します。1880～2012年において、世界平均気温は0.85℃上昇しています。特に、最近30年の各10年間の世界平均気温は、1850年以降のどの10年間よりも高温になっています。今後、温室効果ガスの濃度がさらに上昇し続けると、気温はさらに上昇すると予想されています。

このまま地球温暖化が進むとどうなるの

気象の変化

最近増えている猛暑、記録的な大雨、非常に強い台風の接近・上陸などの異常気象がますます増え、健康への被害や災害が増加するおそれがあります。



海面の上昇

地球の気温が上昇することで、氷河が溶け海に流れたり、海水の温度が上昇することで海水の体積が大きくなり、海面の上昇が起こるおそれがあります。



生態系の変化

気温の変化により植物や動物の住む環境が変わったり、急な温度変化への対応ができなかったりすることで、絶滅してしまう生き物がでるおそれがあります。



農作物の被害

気温が高くなることで、現在生産されている農作物にとって適した温度でなくなるため、収穫量が減るなどのおそれがあります。

